

第4章 施策の体系図・部門別計画

北栄町の将来ビジョンを実現するために行う具体的な施策について、以下のとおり体系図を示すとともに、詳細について第1節以降に示します。

将来ビジョン（2030年の目指すべき将来像）

人と自然が共生し 確かな豊かさを実感するまち

①地域資源の更なる活用による地域経済の好循環	②持続可能かつ快適・安全に暮らせ、地球環境に貢献するまち	③地域の中で生涯を通してやりがい・いきがいをもちながら過ごせるまち	④誰一人取り残さず、地域への理解を育む子育て・教育環境	⑤北栄町ならではの魅力の国内外へのより深い浸透
------------------------	------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------	-------------------------

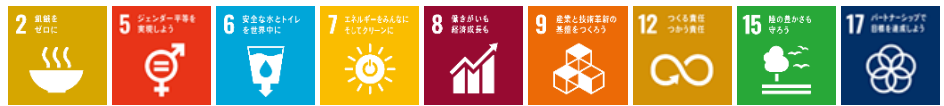
今後10年間のまちづくり

部門別計画	基本施策	具体的施策
第1節 地域資源で 稼ぎ賑わう まちづくり (産業・観光)	第1項 農林業の振興	1. 農業の多面的価値を活かすまちづくり 2. 健全な森林をつくる
	第2項 商工業の振興	1. 商工業の振興
	第3項 観光の振興	1. 観光資源の活用 2. 広域観光の促進 3. 道の駅の再整備
第2節 生涯学び 未来を育てる まちづくり (教育・生涯学習・子育て・文化・スポーツ)	第1項 未来を作る教育の推進	1. 教育環境の充実 2. 地域を支える人材の育成 3. 生涯学習活動の推進
	第2項 子育て支援の充実	1. 結婚、出産、子育てに安心、喜びを感じられる環境づくり 2. 子育てと仕事の両立支援
	第3項 文化・芸術の振興	1. 文化活動及び文化財の保存・活用の推進
	第4項 スポーツの振興	1. スポーツの振興
第3節 誰一人取り残さない まちづくり (人権・福祉・健康・男女)	第1項 人権教育の推進	1. 人権教育の推進
	第2項 福祉の充実	1. 地域福祉の充実 2. 高齢者福祉の充実 3. 障がい者福祉の充実
	第3項 健康づくりの推進	1. 健康づくり活動の推進
	第4項 男女共同参画社会の推進	1. 男女共同参画社会の環境整備
第4節 安全で持続可能 なまちづくり (環境・インフラ・安全・生活)	第1項 環境にやさしいまちづくりの推進	1. 再生可能エネルギー等の活用によるまちづくりの推進 2. 環境にやさしいライフスタイルへの転換 3. ごみの減量化と適正処理の推進
	第2項 インフラの整備	1. 交通基盤の整備・維持管理 2. 上水道の整備・維持管理 3. 下水道の整備・維持管理 4. 公共施設・住環境の整備・維持管理 5. 情報化の推進
	第3項 安全なまちづくりの推進	1. 地域防災・危機管理対策の充実 2. 生活安全の対策の充実
第5節 人と人との つながり を育むまちづくり (コミュニティ・町政・交流・移住定住)	第1項 地域活動・まちづくりへの参画推進	1. 協働活動の推進 2. 開かれた町政運営
	第2項 交流の推進	1. 交流の推進
	第3項 移住定住の促進	1. 北栄暮らしの支援
第6節 健全な財政運営	第1項 健全な財政運営	1. 行財政改革の推進 2. 歳入確保に向けた取り組み

▶ 第1節 地域資源で稼ぎ賑わうまちづくり (産業・観光)

北栄町で働く人、北栄町で暮らす人、またはそれらに関心のある人が自らのやる気や能力を発揮でき、新たなチャレンジを行いやすい環境を整備するとともに、北栄町の魅力ある農業・商工業をはじめとした産業を維持し・発展させ、新たな産業を創出していくための取り組みを応援します。地域のニーズを捉え、しっかりと稼げるまちづくりのための土台作りを関係者と一体となって進めます。

「名探偵コナンに会えるまち」をはじめとして、豊かな自然環境・農産物・文化等も活かした観光施策を一層推進し、地域内での経済活動の活性化を図るとともに、北栄町自身の持つ魅力を向上させ、町内外に発信していくことで、北栄町に訪れ、楽しみながら過ごしてくれる人を増やし、町の内外を問わず「北栄町のファン」の増加につなげていきます。



大栄西瓜の販売促進活動



農産物を楽しめる観光農園



子どもの農業体験



青山剛昌ふるさと館

第1項 農林業の振興

1. 農業の多面的価値を活かすまちづくり

【現状と課題・施策の基本的方向】

北栄町の農業は、水田、砂丘畑、黒ぼく畑、樹園地に概ね区分されており、水田では多くの地域で集落営農が営まれています。砂丘畑では、長芋、ぶどう、らっきょう、白ネギ、洋芝等が栽培され、黒ぼく畑では、スイカをはじめ多品目にわたる野菜、花き等が栽培されています。山間部の樹園地では、梨、柿が栽培されています。

北栄町では、生産者（一丸となって高品質農産物づくりに特化）と、JA系統組織（集荷・選果能力を高め、市場での有利販売につなげていく）が互いに連携する形態が、地域に根付いています。この形態が有効に機能した結果、「大栄西瓜」などブランド化に成功しています。

農業・農村において、農業協同組合の組織や小規模農家、そして家族経営が担ってきた役割は大きく、地域における相互扶助などの人と人のあり方、地域の農業振興への取り組みなど重要な役割を担っています。今後も農協を農家の利益を守る組織として機能してもらうためにも連携を求めて、常に緊張感をもって対応していく必要があります。

販売額 20 億円を誇る「大栄西瓜」も、ここ数年は戸数、作付面積等をみると、緩やかに減少の推移を示しています。主力の担い手が 50 代後半となり、次第に重量のある大栄西瓜の収穫（運搬）作業や同じ姿勢での作業が苦痛になったり、高騰する資材や効率化するために導入した機械などの支払いによって、収支のバランスを失するなどの理由から、生産基盤を維持できず離農したり規模を縮小する農家が出始めました。

【施策の内容】

（1）担い手の確保

- ・新規就農・集落営農・地域の担い手などの育成強化に取り組みます。
- ・新規就農については、親元就農促進支援交付金または農業次世代人材投資資金及び就農条件整備事業などを活用し、就農初期のリスク回避及び安定した農業経営の軌道にのるまでのサポートを行います。
- ・新規就農者の状況に合わせたサポートを行うため、県農林局・普及所・農業大学校・担い手機構など関係機関と十分に連携し、綿密に面談などを行います。
- ・¹⁵ ㈱北栄ドリーム農場が「就農のプラットフォーム¹⁶」となり、ドリーム農場で働く地域おこし協力隊が任期終了後も引き続いて北栄町で農家として根付くことができるよう働きかけます。
- ・北栄町農業のもっている魅力を町民に発信し、北栄町農業に興味をもつ人を増やします。

（2）生産者の主体的なやる気を応援、新たな園芸生産の拡大

- ・飼料用米、麦、大豆など需要のある作物の生産を振興し、意欲ある農業者が自らの経営判断で作物を選

¹⁵ ㈱北栄ドリーム農場：イチコの産地化のため、北栄町と鳥取中央農協が共同出資して設立した農業法人

¹⁶ プラットフォーム：動かすために必要な、土台となる環境や基盤

択する状況を実現するために取り組みます。

- ・ 農業者の感性豊かなアイデアの実現、需要にこたえる園芸作物の生産体制の強化に取り組みます。
- ・ 経営規模の拡大や複合経営の推進などにより、経営基盤の強化を図ります。
- ・ 高単収、高品質栽培技術の導入を加速させ、大栄西瓜をはじめとしたトップブランド産地の形成を進めます。
- ・ 畜産・酪農の収益力強化にむけて取り組みます。

(3) 農地集積・集約の加速化

- ・ 農地の円滑かつスピーディーな集積を図るため、農地中間管理機構の一層の機能強化とあわせて、JA鳥取中央、北栄町、農業委員会等との密接な連携を進めます。
- ・ 農家の話し合いに基づき、地域農業において中心的な役割果たすことが見込まれる農業者に当該地域における農業の将来のあり方などを明確化します。

(4) 輸出環境整備、販路拡大に向けた取り組み

- ・ GAP¹⁷、HACCP¹⁸、ハラール¹⁹、G I等の品質・安全性基準の認証について、国際的な基準との整合性を図りつつ、関係機関と連携して取得を促進します。
- ・ 高付加価値化が可能な有望品目（大栄西瓜、ねばりっこなど）を選定したうえで、戦略的・重点的なプロモーションの継続的实施、集出荷施設等への支援、市場開拓等へ取り組みます。
- ・ 農業と他分野との連携を促進し、経済界と農業界との連携・融合を進め、加工、物流、販売等において経済界のノウハウを有効活用し、生産性の向上につなげます。



大栄西瓜 GI登録



ぶどうの販売促進活動

(5) 子どもや消費者等との交流

- ・ 農業体験、食育体験の場の提供などにより、自然との共同の営み、いのちに対する思い、農と食への理解を深めていきます。

(6) 農地、農業用水等の適切な資源管理

- ・ 畑作に必要な農業用水を確保するための西高尾ダムやパイプラインの整備、営農条件を改善するための水田、畑の整備、農作物などを運搬するための農業用道路の整備、農村の環境整備を行います。

¹⁷ GAP（ギャップ）：「品質」「安全性」「環境への配慮」などの一定基準を満たした農作物に認められる規格

¹⁸ HACCP（ハサップ）：食品の製造工程における品質管理システムのこと

¹⁹ ハラール：アラビア語で「許された」などの意味を持ち、イスラム法で許されている食べ物を指す

- ・農業水利施設や農道の整備等、地域の要望に沿ったきめ細かな基盤整備を推進します。
- ・農業農村の持つ、洪水や土砂崩れの防止、自然環境の保全、美しい風景などの様々な働き（多面的機能）が適切に発揮されるよう、地域の共同活動を支援します。

(7) 農村エネルギー・環境政策への取り組み

- ・農山漁村に豊富に存在する太陽光、風力、地熱、バイオマス、小水力といった未利用の資源を活用した再生可能エネルギー²⁰の推進について、関係機関などと連携して取り組みます。

(8) 先端技術の研究・開発の推進

- ・先端技術の積極的な活用、ドローンやIoT²¹などを活用したスマート農業について、関係者、関係機関と連携しながら導入を検討していきます。

(9) 有害鳥獣被害対策の推進

- ・電気柵やネット柵による防御対策のほか、環境整備（生息地管理・追い払い）を、地域で主体的に行い、捕獲などを軸とした実効性の高い鳥獣被害対策に取り組みます。
- ・農家等が主体的に有害鳥獣の捕獲にかかわることができるよう、狩猟免許の取得を推進するため狩猟免許の取得のための費用を助成します。
- ・鳥獣被害対策の正しい知識や技術の習得と捕獲の担い手を確保するため、狩猟経験のない者又は経験の浅い者を中心に講習会を開催します。
- ・地域資源であるイノシシ等のジビエ²²利用を推進します。
- ・有害鳥獣の捕獲、被害の調査に関する活動、鳥獣の棲家となる竹林の整備などの活動を行う地域おこし協力隊を配置します。

【施策の目標（KPI²³）、関連するSDGs】


項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
新規就農者相談数	述べ50件	述べ60件	2, 8 
園芸産地活力増進事業実施件数	4件	5件	2, 8 
がんばる農家プラン事業実施者数	5件	6件	2, 8 

²⁰ 再生可能エネルギー：自然の活動によってエネルギー源が絶えず再生され、半永久的に供給され、継続して利用できるエネルギー

²¹ IoT（アイオーティー）：あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術の総称

²² ジビエ：狩猟によって食材として捕獲される野生鳥獣やその肉

²³ KPI（ケーピーアイ）：一定の目標達成に向かってそのプロセスが順調に進んでいるかどうかを点検するための、もっとも重要な指標

項目	現状 (R1 実績)	目標 (R12 目標)	SDGs
有害鳥獣侵入防止柵設置事業取り組み地区数	—	2 地区	2 

【みんなで取り組むこと】

- ・一人ひとりが「北栄町は農業の町」であることを再認識し、様々な場面で積極的に農業に係わりを持ちましょう。
- ・北栄町の農産物の美味しさをみんなで宣伝しましょう。
- ・地域の農業や環境を維持発展させていくために、将来の地域のあり方について、豊かな地域づくりをどのように進めるか、地域全体で考え、話し合しましょう。
- ・里山や森林の適切な管理により、有害鳥獣の繁殖を防ぎ、農作物被害の軽減を図りましょう。



北栄ドリーム農場



子どもの農業体験



2. 健全な森林をつくる

【現状と課題・施策の基本的方向】

世界的な景気の減速の影響により、新設住宅着工数の低迷や木材需要量が減少し、長期にわたり下落していた木材価格がさらに低下するなど、林業・木材産業を取り巻く現状は一層厳しさを増しており、必要な森林整備が進まない状況にあります。一方で、木材はコンクリートや鋼材に比べ製造過程における二酸化炭素排出量が少なく、その美しさや温かみから他の建材にはない魅力を持っています。また、適切に管理された森林は地球温暖化対策、生物多様性の保全に貢献し、豊かな森・里・川・海のつながりをつくるものとなります。このため、本町においても、地域の木材の利用を促進し、適切に森林を管理していくことで、地域経済の活性化、さらには循環型社会の構築を図ります。

【施策の内容】

(1) 森林整備の推進

- ・北栄町森林整備計画を効果的に進めるため必要な財源を確保します。
- ・森林クラウド（市町村、県、森林組合で森林情報を共有するネットワーク）を構築し、効率的な森林施業を支援します。
- ・里山の保全機能などを有する竹林は、その整備に多額の費用がかかることから放置され、人工林への侵入や竹藪化に伴う生活環境の悪化や景観破壊といった問題が生じていることから、竹林整備及び竹のパウダー等有効活用のための総合的な支援を行います。

(2) 木材利用の推進

- ・公共建築物木材利用促進法の施行に伴い、公共建築物等における木材利用を拡大するとともに、住宅利用に加えて、木の特性を活かした木材利用の多様化を進め、民間需要の拡大にむけて取り組みます。
- ・森林・林業の役割や木材の利用意義等について、木に触れ、木を知る木育を通じて、次代を担う子どもたちを中心として町民に幅広くPRします。

(3) 持続的森林経営の育成

- ・農業剪定枝や林地残材の新たな木材利用を検討します。
- ・経営管理が行われていない森林について、町が森林所有者の委託を受けて経営管理し、意欲と能力のある林業経営者に再委託することにより、林業経営の効率化と森林管理の適正化を推進します。
- ・林業労働者の生活の安定と福祉の向上に寄与するため、林業労働者共済掛金及び林業労働者年末一時金の支給助成を行い、人材の確保及び就労条件の改善を図ります。

(4) 森林病虫害被害対策の推進

- ・松くい虫被害の拡大防止を図る観点から、松くい虫被害を受けない抵抗性クロマツの植栽を推進し、薬剤の空中散布による健康被害の防止や農産物への影響などへの対策を行うなど総合的な松くい虫対策を推進します。
- ・海岸部における民有保安林について、駆除・防除に対し県と連携して取り組みます。
- ・急速に広がりつつあるナラ枯れについて、その被害拡大を防止するための効率的な駆除対策を県と連携して取り組みます。



山林



松くい虫防除空中散布

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
森林経営管理面積	—	50ha	15 
今後の抵抗性クロマツ植栽本数	—	5,000本	15 

【みんなで取り組むこと】

- ・みんなで森林資源を積極的に活用することにより、森林環境を保全しましょう。
- ・松くい虫被害の拡大を防ぎ、健全な松林を保持しましょう。

第2項 商工業の振興

1. 商工業の振興

【現状と課題・施策の基本的方向】

日本経済は、国の日本再興戦略の取り組みもあり、デフレ²⁴構造及び極端な円高が是正されようとしています。わが国が持続的な経済成長を実現するためには、人口減少・高齢化、財政再建という長期的な課題への対応が必要不可欠な状況となっています。

このような情勢の中で、本町においても地域経済を支える中小企業を取り巻く環境は、若年層の定着率の減少・少子高齢化の進行による生産年齢人口の減少、経済活動の広域化・グローバル化により厳しい状況となっています。

本町における商工業が今後も安定した発展を続け、豊かな町民生活を営むことができる環境を維持するためには、ICT²⁵技術を活用した生産性の向上や在宅勤務、SOHO²⁶など職場にとらわれない新たな働き方など、時代の変化に的確に対応した取り組みが求められています。

また、町内の消費動向は、県東西部に大規模ショッピングセンターの立地や近隣市町へドラッグストア等の出店、ネット販売・TV通販の進展による影響のほか、消費税増税による買い控え等により既存商店も厳しい状況に置かれていることから、今後さらに進行する少子高齢化を見据え、事業者・町民・町が地域経済発展のためにそれぞれの役割を明確化して、地域内で生活に必要なものを手に入れることができる地域循環型の環境づくりを進めていく必要があります。



町内の商工業事業所



町内企業を紹介「企業ガイドブック」

【施策の内容】

本町の事業所の大多数を占める中小企業は、地域の経済、雇用をはじめ町民の暮らしを支えており、地域を守る人材の確保や災害に強く安心して豊かに暮らせる社会の実現に大きな役割を担っています。地域を構成する事業者・町民・町・支援団体等が互いの役割を明確にし、町全体で中小企業の振興に取り組んでいくことを定めた「北栄町中小企業・小規模企業振興基本条例」に基づき、次の施策を展開します。

²⁴ デフレ：物価が下がり続け、経済活動が縮んでいく現象

²⁵ ICT（アイシーティー）：情報通信技術

²⁶ SOHO（ソーホー）：パソコンやインターネットを駆使して個人や中小企業がビジネスを展開する自宅や小規模の事業所のこと

(1) 町内事業所の経営安定及び革新に関する施策

- ・経営安定・経営革新に取り組む事業者に対し、支援制度を受けるための前提となる計画承認を行うほか、必要に応じたフォローアップを行います。

(2) 町内事業所の経営基盤整備に関する施策

- ・経営基盤の整備や事業再建などの相談に広く応じることができる相談機関の周知を行います。

(3) 町内事業所の受注機会拡大・市場開拓に関する施策

- ・地域の事業者配慮した発注や市場開拓に向け、地域内循環の拡大に取り組みます。
- ・インバウンド²⁷への取り組みにより町内消費を高めます。

(4) 人材育成・確保及び雇用の促進・安定に関する施策

- ・教育機関と連携し、児童・生徒への適正な職業観・勤労観を醸成することで、幼いころから地域の職場を身近に感じる機会を増やすことに努めます。
- ・雇用の確保に向け、企業が求める人材と働きたい職場のマッチングが円滑に進むよう就職支援の充実を図ります。
- ・IJUターン²⁸促進の取り組みにより、都市部からの人材確保を図ります。

(5) 働きやすい職場づくりに関する施策

- ・働きやすい労働環境や働きがいのある職場環境を目指した啓発活動に取り組み、仕事と生活の調和がとれた労働環境の構築に取り組みます。

(6) 事業承継の促進に関する施策

- ・円滑な事業承継により、地域資源と技術を次代に伝承していけるよう、事業承継の有効な制度及び相談窓口の周知に努めます。

(7) 新事業の創出及び起業支援に関する施策

- ・本町独自の創業支援制度を取り組みの軸として、事業者の創業を支援し、地域経済の活性化及び雇用の創出実現に取り組みます。

(8) 資金調達の円滑化に関する施策

- ・事業者の資金調達を支える金融機関と連携し、事業者に対して有効な各種融資制度の周知に努めるとともに、状況に応じた円滑な融資が受けられる環境整備に努めます。

(9) 中小企業・小規模事業者に対する支援・連携ネットワークの構築

- ・本町全体で商工振興を進めていくために、商工会をはじめとした関係団体の活動を支援し、支援ネットワークの強化を図ります。

(10) 中小企業・小規模事業者に関する情報の収集及び提供

- ・企業訪問により、事業者のニーズを把握するとともに支援制度の周知に努めます。

²⁷ インバウンド：外から中へ入り込むこと。特に外国人の訪日旅行のこと

²⁸ IJUターン：Iターンは出身地以外の地方へ移住すること。Jターンは出身地の近くの地方都市へ移住すること。Uターンは出身地に戻ることに努めます。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
町内企業への訪問件数	74社	440社/11年	9 
町内企業の経営革新に関する計画認定件数（地域未来投資法等）	1社	11社/11年	9 
町内企業増設社数（企業立地促進奨励金申込み件数）	4社/年	33社/11年	9 
町内企業への公共事業等の受注割合	64%	80%	9 
イクボス・ファミボス宣言 ²⁹ 取り組み町内企業数	16社	30社	5. c, 8. 5 
事業承継件数（商工会アンケート『後継者候補』）	35社	60社	9 
町内起業者数（創業支援事業）	3社/年	33社/11年	9 
北栄町商工会加入者数	377社	380社	9 

【みんなで取り組むこと】

- ・地元商店の利用・販売促進に向けた地域内循環に取り組みましょう。
- ・学校・イベント等での職場体験活動に参加し、地元企業への理解を深めましょう。
- ・女性・障がい者などすべての人が働きやすい環境づくりを推進しましょう。

²⁹ イクボス・ファミボス宣言：部下の仕事と家庭の両立を応援し、育児や介護をしながら働き続けられる職場環境づくりを宣言するもの

第3項 観光の振興

1. 観光資源の活用

【現状と課題・施策の基本的方向】

青山剛昌ふるさと館の総入館者数は平成30年度が約16万1千人、令和元年度には約21万9千人と、近年急増しており、いまや鳥取県中部を代表する観光施設として人気を集めています。

今後も、国内外におけるプロモーションをはじめ、様々なメディアを活用したPR、関係機関と連携したイベント開催による誘客活動を行い、コナン通り周辺のにぎわい創出と修景整備の取り組みを進めることで観光客の増加につなげるとともに、町内で観光客が滞留できる環境を整備する必要があります。また、農産物・文化・歴史・文化財など本町が有する文化観光資源を「名探偵コナンに会えるまち北栄町」とあわせて活用・発信することで、町内全域でのにぎわいと活力につなげる必要があります。

名探偵コナンを活用した修景整備等によりコナン駅から青山剛昌ふるさと館へ続くコナン通りと周辺の魅力向上を図り、世界で唯一「名探偵コナンに会えるまち」というイメージを幅広く浸透させ、本町に誘客して、交流人口増につながる取り組みを進めます。併せて、レークサイド大栄や北条オートキャンプ場、道の駅などの観光施設を活かし、本町の観光資源の魅力を多くの方に知ってもらい、その魅力をさらに高めることで特色ある観光資源の振興を図り、にぎわいと活力のあるまちづくりを目指します。

【施策の内容】

(1) 名探偵コナンや特産品等を活用した観光地づくり

- ・青山剛昌ふるさと館を、「名探偵コナンに会えるまち」北栄町のシンボルとして、必要な機能を取り入れ充実させ、町民はもちろんのこと、ファンや観光客にも愛される施設に再整備します。
- ・コナン駅の駅舎を整備し、観光の拠点施設として誘客に活用します。
- ・名探偵コナンに会えるまちとして、コナン駅やコナン通り、青山剛昌ふるさと館など名探偵コナンを活用した観光ルートづくりを推進し、交流人口の増加を図ります。
- ・観光客の満足度の向上及び、地域への経済効果の発現を図るため、宿泊施設や飲食物販店舗の開設、名探偵コナンを活用した商品開発を支援します。
- ・個人及び団体の観光客を幅広く誘致するため、農業体験やものづくり体験等の素材を活用した着地型観光プランの造成を支援します。

(2) 観光情報の発信・誘客体制づくり

- ・青山剛昌ふるさと館をはじめ、レークサイド大栄、お台場公園、北条オートキャンプ場、道の駅などの観光施設や観光農園、国史跡由良台場跡などの文化・歴史・文化財等あらゆる分野を取り上げながら北栄町の魅力をアピールするために、県や観光団体との連携により、様々なメディア、イベント等を活用して情報を発信します。特に、世界で唯一「名探偵コナンに会えるまち」としての優位性を広く発信するため、鳥取県等と協働して、国内外でのプロモーション活動を行います。
- ・鳥取県観光連盟や鳥取中部観光推進機構など観光団体と連携して、造成された着地型観光プランやその

他北栄町観光素材のプロモーション活動を行い、個人及び団体の観光客を幅広く誘致します。

- ・国内外に北栄町の魅力を伝えるため、外国語対応パンフレットの作成や、青山剛昌ふるさと館や町、観光協会公式サイトやSNS³⁰の多言語化を進め、より有効に情報提供します。
- ・観光客の満足度を高め、リピート率の高い魅力ある観光地をつくるため、観光案内の充実やおもてなしの向上等により観光客の受け入れ体制を整備します。



青山剛昌ふるさと館



北条オートキャンプ場

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
青山剛昌ふるさと館入館者数 （インバウンド受入数）	22万人/年 （2万人/年）	20万人/年 （3万人/年）	8.9 
町内主要観光施設入込客数	76万5千人/年	105万7千人/年	8.9 

【みんなで取り組むこと】

- ・町の観光素材を知り、町外の方に口コミなどでPRしましょう。
- ・青山剛昌ふるさと館やコナン通りを訪れ、名探偵コナンの世界に触れましょう。

2. 広域観光の促進

【現状と課題・施策の基本的方向】

広域観光については、鳥取県中部1市4町と岡山県蒜山地域における行政・観光関係団体・事業者等で構成される鳥取中部観光推進機構が、圏域の観光資源をつなぎ、一体的に広域プロモーションを行っています。また、魅力ある鳥取中部観光の姿を創り出すため、令和元年度に鳥取中部ふるさと広域連合が「第2次鳥取県中部広域観光ビジョン」を策定し、中部がひとつとなった取り組み指針を示し、中部圏域としてのあるべき将来像を示しているところです。

³⁰ SNS（エスエヌエス）：人と人とのつながりを支援するインターネット上のサービス。フェイスブック、ツイッター、LINE（ライン）、インスタグラム等

そんな中、本町の該当する「東伯耆周辺」、「とっとり梨の花温泉郷周辺」は、県内各圏域と同様に近年観光客の入込が伸び悩んでいるところですが、一方で外国人観光客数は増加傾向にある状況です。

県中部圏域が一体となって「鳥取中部」のブランドイメージ創出、観光商品の開発、情報発信に取り組むとともに早急にインバウンドに対応した受入環境を整備することで誘客を促進していく必要があります。



温泉、食、サブカルチャー³¹などをキーワードとした「癒しをテーマとした地域魅力の結びつき」を基本コンセプトに、広域観光組織「鳥取中部観光推進機構」の中部圏域の魅力を活かした周遊性や山陰道（北条道路）及び北条湯原道路等の高速ネットワークを活かした取り組み並びに今後さらなる入込客数の増加が予想されるインバウンドへの取り組み等を支援することにより、鳥取県中部圏域への観光誘客を目指します。

【施策の内容】

（１）圏域の魅力度アップ

- ・鳥取県中部圏域の観光関係団体と連携しながら、特産品をはじめ地元素材を活用した周遊性のある取り組み及び国内外への戦略的な魅力発信を支援します。
- ・広域観光組織による「とっとりインバウンドおもてなし店³²」登録制度、Wi-Fi 環境³³の整備など、外国人観光客のニーズに対応したおもてなしの環境整備を支援します。
- ・中部圏域にとどまらず、県内観光施設や観光関係団体との連携により、広域的な観光ルートを整備します。
- ・鳥取砂丘コナン空港や駅をはじめとした交通拠点及び周辺観光施設と北栄町との結節を観光関係団体と連携して交通事業者等に働きかけ、観光客の利便性向上を図ることで圏域としての魅力度アップに努めます。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（H30実績）	目標（R12目標）	SDGs
鳥取県中部圏域観光入込客数	176万1千人/年	250万人/年	8.9, 17.17  

【みんなで取り組むこと】

- ・中部圏域の観光素材を知り、圏域外の方に口コミなどでPRしましょう。
- ・中部圏域の観光名所や温泉を訪れ、その魅力に触れましょう。

³¹ サブカルチャー：伝統的文化ではなく、最近になって認められてきた大衆文化のこと。映画やアニメ、ゲーム等

³² とっとりインバウンドおもてなし店：外国人旅行者への食事・買物等の利便性を高めるため、言語対応されたメニューや店内表示を行うとともに、Wi-Fi 及びキャッシュレスの環境が整備された店舗

³³ Wi-Fi 環境：無線 LAN でインターネットに接続できる環境のこと

3. 道の駅の再整備

【現状と課題・施策の基本的方向】

本町には2つの道の駅があり、それぞれが地域の魅力を発信する拠点として機能しています。このうち、道の駅「北条公園」は、休憩・情報発信・地域連携機能が集積する「国道9号南エリア」と、北条オートキャンプ場を主体とする「国道9号北エリア」によって構成されており、相互が補完し合いながら地域の集客・交流拠点としての役割を担っています。しかしながら、平成5年の道の駅登録から約27年が経過し、施設の老朽化や多機能化への対応の遅れ、周辺道の駅との競合による入込客数の減少等、様々な課題が出てきています。その一方で、本施設周辺では、山陰道北条道路と北条湯原道路が開通する予定であり、人とモノの動きが大きく変化することから、道の駅への立ち寄りをいかに向上させるかが大きな課題となっています。また、道の駅に求められる社会的役割も変わってきており、昨今の災害発生状況を踏まえ、災害時の避難所及び復旧・復興の拠点としての機能等も求められています。

このような状況を踏まえ、町では令和元年度に道の駅「北条公園」再整備基本計画を策定し、再整備の基本的方向、導入施設の内容・概略規模、事業スケジュール等の方針を定めました。本計画に基づき、町の代表的な地域資源である“砂丘地農業による豊かな農産物”や“白砂青松の魅力的な自然景観”等の「北条砂丘めぐみ」を更に磨き上げ発信するとともに、地域住民も集い楽しめる場として整備することによって、交流人口を一層拡大させ、地域経済の活性化、地域振興の拠点となる道の駅としていきます。


また、道の駅「大栄」についても、将来的な山陰道北条道路の開通や、施設の多機能化への対応の遅れ等の課題があることから、再整備に関する検討を行います。

【施策の内容】

(1) 道の駅「北条公園」再整備

- ・基本計画に基づき、国や施設の管理運営者と連携しながら、道の駅の設計、建設作業等を進めます。
- ・道の駅の管理運営については、施設の設計段階から運用の段階まで民間のノウハウを最大限に活用していきます。
- ・再整備に当たっては、道路管理者である国土交通省が道路利用者に必要な休憩施設等を、町が地域振興のための施設を整備していくこととしています。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状 (R1 実績)	目標 (R12 目標)	SDGs
道の駅「北条公園」への立寄者数（レジ通過者数）	4万3千人/年	33万人/年	8 

【みんなで取り組むこと】

- ・農産物等直売所、レストランで地元産食材に触れましょう。
- ・北条オートキャンプ場で地元の自然に触れましょう。

第2節 生涯学び未来を育てるまちづくり (教育・生涯学習・子育て・文化・スポーツ)

子どもが健やかに育ち、自らの能力を発揮できる環境を整えるとともに、豊かな自然環境や歴史・文化をはじめとした地域資源を最大限活用し、北栄町ならではの魅力ある教育機会の提供を行うことで、北栄町で生まれ育ってよかったと子どもたちが心から思える環境をつくります。また、子育てを総合的に支援し、仕事と両立しながら子どもを安心して生み育てられるためのまちづくりを行います。北栄町の様々な文化財の活用、文化・芸術活動の推進を行うとともに、生涯学習のサポート、生涯スポーツの振興を行うことで、町の歴史・文化を次世代に伝えていくとともに、町民一人ひとりが生活を豊かなものにしていくことを支援します。



チャレンジ!!通学合宿 大学生ボランティアと



給食の地産地消率 県内No.1



こども園での食育



中学生の職場体験 こども園で園児とかけっこ

第1項 未来をつくる教育の推進

1. 教育環境の充実

【現状と課題・施策の基本的方向】

核家族化や少子化が進む中、子どもたちを取り巻く生活環境・社会環境は著しく変化しています。子どもは、北栄町の未来を託すかけがえのない宝であることから、このような厳しい時代の中でもしっかりと子どもたちを育てられる環境づくりを推進する必要があります。

学校では、主体的・対話的で深い学びを通して、身につけた基礎的・基本的な知識・技能を駆使して、粘り強く問題を解決したり、よりよいコミュニケーションを図ったりする力を育成します。

【施策の内容】

(1) 生きる力の育成

- ・少人数学級による習熟度に応じた授業やICT教育の導入により、学力の向上対策を図ります。
- ・人権教育、体験活動、食育、スポーツ機会の提供などを通じて、豊かな心と社会性、健やかな体を育む活動を推進します。
- ・特別支援教育の充実、スクールカウンセラー³⁴やスクールソーシャルワーカー³⁵の配置により、子ども一人ひとりの状態・状況に応じたきめ細かな個別支援を行います。


(2) 家庭や地域と連携した切れ目ない教育

- ・学校と家庭や地域、こども園や小中高の年齢段階別の教育機関同士など、関係者間での連携を図り、一体的で切れ目のない教育環境をつくります。

(3) グローバル人材の育成


- ・小学校外国語授業や中学生英語力向上事業を通じて、異文化に対する理解を深めるとともに、異なる文化を持った人とも生きる資質を育てるため、国際理解教育を進めます。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
全国学力・学習状況調査平均正答率	・小6＝国語61%（国63.8、県63）、 算数63%（国66.6、県63） ・中3＝国語71%（国72.8、県73）、 数学58%（国59.8、県60）、 英語55%（国56、県54）	・小6＝国県数値以上 ・中3＝国県数値以上	4 

³⁴スクールカウンセラー：児童・生徒の悩みの相談に応じるとともに、教師や保護者に対して指導・助言を行う専門家

³⁵スクールソーシャルワーカー：いじめや不登校、虐待、貧困など、学校や日常生活における問題に直面する子どもを支援する社会福祉の専門家

項目	現状 (R1 実績)	目標 (R12 目標)	SDGs
不登校児童生徒の出現率	<ul style="list-style-type: none"> ・小=0.64% (H30 国 0.69、県 0.86) ・中=2.78% (H30 国 3.64、県 3.58) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小=国県数値以下 ・中=国県数値以下 	4 

【みんなで取り組むこと】

- ・子どもと向き合い、家庭学習に取り組みましょう。
- ・「家庭教育・家庭学習の手引き」をよく理解し、実践につなげましょう。

2. 地域を支える人材の育成

【現状と課題・施策の基本的方向】

出生数の減少と若者世代の地域外流出により、地域の将来を担う人材をいかに確保していくかということが重要な課題となっています。地域外へ出た人材が北栄町に戻り定住するためには、子どものときから自分の生まれ育った町と地域の良さを知ってもらい、誇りと愛着を持ってもらうことが必要です。

学校や家庭だけでなく、地域が子どもを守り育てていく主体の一人であるという意識の醸成を図りながら、地域社会全体で将来の北栄町を担う人材となる子どもへの関わりづくりや子どもが地域に育てられたことが実感できる取り組みを推進します。



SDGs ほくほくプラザ応援宣言



瀬戸獅子舞を習う高校生

【施策の内容】

(1) 地域で教育を支える体制づくり



- ・保護者及び地域が学校教育に参画するコミュニティスクール³⁶の導入、実践を進めます。
- ・学校長期休業中の地域内での子どもの活動を支える「地域で子どもを育てる体験活動支援補助金事業」を推進します。

(2) 地域資源を活用した多様な実践型学習の提供

³⁶ コミュニティスクール：学校運営協議会制度。学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させるもの

- ・職業体験や環境学習等、地域の学びの機会を提供し、子ども達の将来の選択肢や可能性を広げます。
- ・鳥取中央育英高校や鳥取大学と連携し、学生による地域資源等を活用した実践型学習を支援し、課題発見・解決力の向上を目指します。
- ・町の歴史・文化を身近に感じ、北栄町の素晴らしさに気づける機会を提供します。
- ・ほくほくプラザ（北栄人権文化センター）で、周辺市町村の企業とともに具体的な地域におけるSDGsの推進に係る教育プログラムを提供します。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある生徒の割合	中3＝35.9%（国39.4、 県40.8）	中3＝国県数値以上	11 
鳥取県の課題に対してアイデアがある高校生の割合（実践型学習「地域探究の時間」の事前事後アンケート）	41.4% （事前30.4%）	50%	4 

【みんなで取り組むこと】

- ・同日公開参観日に参観し、子どもたちの様子を知りましょう。
- ・地域で子どもを見守り、育む意識を醸成しましょう。
- ・身近な歴史や文化に触れましょう。

3. 生涯学習活動の推進

【現状と課題・施策の基本的方向】

教育基本法に盛り込まれた「生涯学習の理念」を踏まえ、社会のあらゆる分野、領域において「いつでもどこでもだれでも」主体的に学習活動ができるよう中央公民館、大栄分館、図書館及び北栄みらい伝承館（北条歴史民俗資料館）などの社会教育施設とともに、歩いて行ける自治会施設で実施する生涯学習出前講座等による学びや情報の提供の場を設け、様々な生涯学習活動の支援を行っています。しかし、近年の社会情勢や生活環境の変化に伴い、地域や町民の学習ニーズや課題は多様化してきています。また、地域における町民同士の関係の希薄化から行事等の実施が困難になってきています。

これらに対応するため、さらに地域に根差した学びの場所や体験活動等の学習機会を積極的に提供するとともに、各種指導者や自主的に活動・運営ができる団体でリーダーやコーディネートできる人材の育成への支援が重要となってきています。

今後は、北栄町教育大綱で定める「学びを通して 夢を実現する人づくり」を基本理念に、家庭・学校・地域などあらゆる分野が幅広く連携し、町民一人ひとりが地域の特長やそれぞれの力を活かして、積極的に「できることを できる時に できる形で」取り組むとともに、自分の目標に向かって楽しく学び、幸せ

で、充実した人生を送ることができ、地域や家庭で子どもの成長や高齢者の暮らしを見守りながら、互いに主体者として「住み続けるなら北栄町」をつくっていくための「人づくり」を進めます。

【施策の内容】

(1) 生涯学習機会と情報の提供

- ・中央公民館など社会教育施設及び自治会施設での学習の場の充実に努めます。
- ・多様な課題やニーズに対応した効果的な学習情報の提供を図ります。
- ・あらゆる世代に対応した学習機会の提供に努めます。

(2) 町民活動の支援

- ・自治会への生涯学習メニューの提供と研修等を通じた人材の育成を支援します。
- ・社会教育施設、自治会施設等で活動する町民主導の学習サークルの育成を促進します。
- ・自立した学習活動団体、個人の育成と学習成果の地域還元を支援します。
- ・地域や家庭で子どもの成長や高齢者の暮らしを見守る活動を促進します。

(3) 図書館の充実

- ・図書・雑誌・視聴覚資料など資料の充実に努めます。
- ・情報提供サービスやレファレンス³⁷機能の充実に努めます。
- ・講座や催し物等実施により図書館機能の充実に努めます。
- ・地域を支える情報拠点として、情報発信に努めます。
- ・「今こそ絵本を！」事業を推進します。






シニアクラブ 暮らしの講座「ペーパークラフト作り」



読みメンお話し会 図書館で

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状 (R1 実績)	目標 (R12 目標)	SDGs
生涯学習出前講座の参加者数	2,878人	3,000人	4, 11, 17.17   

³⁷ レファレンス：図書館などで、利用者の問い合わせに応じ、図書の照会や検索を行うこと

項目	現状 (R1 実績)	目標 (R12 目標)	SDGs
中央公民館利用者数 ※各講座や文化教室、大栄分館（指定管理）の利用者含む	69,000 人	90,000 人	4, 11, 17.17   
図書館来館者数 ※北条分室も含む	58,765 人	62,000 人	4, 11, 17.17   

【みんなで取り組むこと】

- ・自主的、主体的に学習に取り組み、学びの輪を広げましょう。
- ・安心、いきがいのある地域づくりのため、積極的に地域活動に参加し、生涯学習活動で得た成果を地域の中で活かしましょう。
- ・「絵本は人生に3度」をテーマにあらゆる世代で絵本に親しむ機会をつくりましょう。

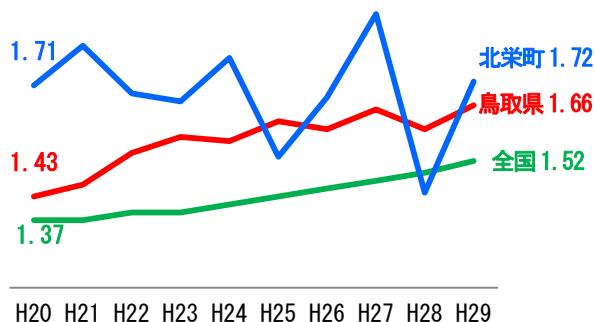
第2項 子育て支援の充実

1. 結婚、出産、子育てに安心、喜びを感じられる環境づくり

【現状と課題・施策の基本的方向】

合計特殊出生率の低下、晩婚化、未婚率の上昇などで子どもの出生数の増加が見込まれない中、結婚期や出産期を迎える世代に対しては、結婚から出産・子育てへの関心と期待を抱かせることや、周りからのサポートがあることにより安心感を抱いて出産等が行える環境づくりが必要です。また一方では、近年の社会の変容に伴い、若年齢の予期しない妊娠や、虐待歴やDV³⁸経験があるなど、出産後の養育において特に支援が必要となるケースも生じてきています。

これまで北栄町では、妊娠・出産・子育てに関するワンストップ窓口として子育て世代包括支援センター（通称：ネウボラ）を中心に支援体制を整備してきましたが、引き続きこれによる支援を充実させていきます。



合計特殊出生率の推移



子育て支援センター

【施策の内容】


(1) 安心して子育てできる環境整備

- ・親として子育てに関わることの楽しさと必要性について、積極的に啓発します。
- ・子育てする人に寄り添い、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを推進します。


(2) 次世代教育

- ・将来親になる児童生徒に対し、予期せぬ妊娠、虐待予防につなげるための「生きるための心の教育」に取り組めます。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状 (R1 実績)	目標 (R12 目標)	SDGs
町の子育て支援施策に満足する人の割合（町民アンケート） ※「関心がない」「無回答」を除いた構成比	71.8%	85%	3 

³⁸ DV（ディーブイ）：家庭内における暴力行為。特に、配偶者や恋人など近い関係にある異性への暴力

項目	現状 (R1 実績)	目標 (R12 目標)	SDGs
妊婦面談	100%	100%	3 

【みんなで取り組むこと】

- ・妊娠・出産・子育てについて不安なことは誰かに相談しましょう。
- ・“^こ孤育て” ^{ゼロ}0！を目指しましょう。

2. 子育てと仕事の両立支援

【現状と課題・施策の基本的方向】

核家族化と保護者の就労により子育てと仕事の両立は子育て家庭の大きな負担となっています。経済的な負担軽減はもとより、就労時間の多様化による預かり時間や発病した子の保育などでも課題は多く、これらに対応する支援サービスの充実も求められています。

子どもはこれからの社会を担う力として大切な存在です。子どもにとってより良い未来を楽しく期待を持って切り開いていけるよう、世代間、地域がつながり、安心して子どもを産み育てられる社会の実現を目指し、社会全体で子育てを支援する支え愛の取り組みを進めるため、今後もニーズに即した多様な支援を充実させていく必要があります。

【施策の内容】

(1) 子育て世帯への支援

- ・保育料の無償化や在宅育児世帯支援事業給付金により保育の経済的負担の軽減を行います。
- ・延長保育、病児・病後児保育、休日保育、放課後児童クラブの実施による保育サービスの充実を図ります。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状 (R1 実績)	目標 (R12 目標)	SDGs
こども園入所待機児童	0人	0人	11 
放課後児童クラブ待機児童	0人	0人	11 

【みんなで取り組むこと】

- ・どの子どもわが子のように見守り支えていきましょう。
- ・仕事も家事も子育ても分担しましょう。
- ・職場では子育てする人への理解を深め、子育て・仕事を両立できる環境を整えましょう。

第3項 文化・芸術の振興

1. 文化活動及び文化財の保存・活用の推進

【現状と課題・施策の基本的方向】

本町は、古墳の密度が県下有数であり、国史跡由良台場跡や六尾反射炉跡、国の重要文化財である仏像2体がある東高尾観音寺をはじめ全国に誇れる史跡や文化財のほか、前田寛治氏等の多くの芸術家や文化人を輩出しています。この素晴らしい文化的財産について、北栄みらい伝承館（北条歴史民俗資料館）を核とした展示やイベント、ガイドマップ・地域副読本を活用するなどして、町内外の人たちに知る機会を提供していますが、その存在や価値が十分に浸透しているとはいえません。

また、文化・芸術活動に積極的に取り組んでいる人や団体もあり、町規模では県下唯一の美術展を長年開催したり、中央公民館を中心に行事や各施設における芸能や作品の発表・展示を積極的に行ったり、北栄文芸を発行したりすることで町民の素晴らしい活動に触れ、新たに活動を始めるきっかけにもなっていますが、活動する人の固定化、高齢化も課題となっています。

先人が築き、継承してきた「文化の薫るまち」として、活動や素晴らしい文化的財産を次の世代に引き継ぐため、質の高い優れた文化・芸術の鑑賞・体験機会の提供について様々な取り組みをし、より工夫することにより、創造力や感性豊かな情操を養い、地域の文化・芸術に親しみ、高めることのできる人材の育成に努めます。

また、「北栄町文化財保存活用地域計画」に基づき、文化財資料の調査、研究、保存とともに、積極的な活用を行うことにより、それぞれの地域の特長に気づくとともに郷土への誇りや愛着心を育み、このことが活かされた地域づくりが進められるよう取り組みます。

加えて、本町は漫画「名探偵コナン」（週刊少年サンデー連載）の作者、青山剛昌氏の出身地でもあります。このキャラクターを活用し様々なまちづくりを展開していますが、本町発の「マンガ文化」を世界に向けてさらなるアピールをし、漫画・アニメ文化の振興に寄与するとともに、町民をはじめ多くの人たちに、より親しみ、誇りを持てる取り組みを進めます。



東高尾観音寺



地域副読本「まちの姿」「歴史・人物編」

【施策の内容】

(1) 地域の伝統文化芸能の伝承

- ・郷土の民俗芸能・文化の掘り起こしと支援を行います。
- ・郷土の民俗芸能・文化の伝承保存・記録を行います。
- ・郷土の民俗芸能・文化を伝承するため、後継者の育成を図ります。

(2) 文化・芸術活動の推進

- ・優れた文化・芸術に親しむ機会の充実を図ります。
- ・他の文化施設や関係機関と連携し、北栄町の文化芸術の振興を図ります。
- ・情報発信等により、文化・芸術活動に取り組む人の増加を図ります。

(3) 文化資料の保存、活用、啓発

- ・「北栄町文化財保存活用地域計画」に基づき、文化財資料の調査、記録、収集、整理、保存、活用を図るとともに地域に合った歴史・文化的な取り組みを支援します。
- ・北栄みらい伝承館（北条歴史民俗資料館）を情報発信拠点として、所蔵資料の展示など、積極的な活用を行います。
- ・広報誌、各種メディア媒体を活用し、文化資料の啓発を図ります。
- ・全国に誇れる国史跡由良台場跡・町指定文化財六尾反射炉跡、前田寛治氏、生田和孝氏、加藤廉兵衛氏などについて積極的に発信します。

(4) マンガ文化の発信

- ・北栄町から世界に向けてマンガ文化を発信します。
- ・世界に通じる「第二の青山剛昌氏」の誕生を目指し、人材育成支援と地域の雰囲気醸成に努めます。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状 (R1 実績)	目標 (R12 目標)	SDGs
北栄みらい伝承館（北条歴史民俗資料館）利用者数	2,153 人	2,000 人	4, 11  
美術展事業作品展数	158 作品	160 作品	4, 11  

【みんなで取り組むこと】

- ・全国に誇れる文化・芸術、文化財等があることを知り、楽しみ、守り、町内外に広め、次の世代に伝えましょう。
- ・伝統文化を継承していくとともに、新しい文化にも興味を持ち、地域の特長を活かしながら、第二の青山剛昌氏のようなクリエイティブな文化人を輩出できる豊かでいきいきとした文化のまちづくりを推進しましょう。

第4項 スポーツの振興

1. スポーツの振興

【現状と課題・施策の基本的方向】

健康維持・増進のためのスポーツ・レクリエーションへの関心や役割は、高齢化や生活習慣病対策、心の健康など、健康寿命延伸の面からも年々高まってきています。従来、目的の根幹とされてきた競技性の追求も重要視しながら、町民の健康・体力づくり・子どもの身体の発達のために多様化するニーズ、幅広い年齢層への活動拡大に必要なニーズに応じる取り組みが重要となります。また、地域のコミュニティづくりにもスポーツ・レクリエーションが大きな役割を果たすことを踏まえた上で、スポーツ・レクリエーションの振興を図る必要があります。

現在、町民が自主的、主体的にスポーツに取り組む仕組みとして、「総合型地域スポーツクラブ」を導入し、「一般財団法人 北栄スポーツクラブ」を中心に取り組みを進めています。また、スポーツ推進委員はスポーツやレクリエーションの普及や推進のため、活動しています。

だれもが生涯を通じていつでもどこでも気軽にスポーツを楽しめる生涯スポーツ社会づくりを目指すため、町・北栄スポーツクラブ・スポーツ推進委員が一体となり、健康づくり・地域づくりを推進します。



北栄町すいか・ながいも健康マラソン大会



B&Gプール

【施策の内容】

(1) スポーツに親しむ機会の提供

- ・スポーツ団体・クラブ等の運営・活動が円滑に行われるよう支援を継続します。
- ・スポーツ推進委員と北栄スポーツクラブの連携を図ります。
- ・町民の各種運動、スポーツ・レクリエーションへの参加、健康づくりをより一層推進します。
- ・誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる環境・地域づくりを推進します。

(2) スポーツ・レクリエーションの生活化

- ・日常生活の中へスポーツとレクリエーションを取り入れ、運動の生活習慣化を図ります。

(3) スポーツ人口の増加

- ・スポーツ愛好者の底辺を拡大し、スポーツ人口の増加を促進するため、ニュースポーツ、軽スポーツの

振興を図ります。

- ・スポーツ・レクリエーションをする人、見る人、支援する人など地域全体にスポーツ・レクリエーションが浸透するため、総合型地域スポーツクラブの定着を図ります。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
北栄スポーツクラブへの加入者数	1,238人	1,400人	3, 4, 11   
各種スポーツ大会の参加者数	406人	450人	3, 4, 11   

【みんなで取り組むこと】

- ・健康に過ごせるため、自主的、主体的に運動に取り組みましょう。
- ・積極的に各種スポーツ大会に参加するなど、地域でスポーツ・レクリエーションを楽しむ機会を増やしましょう。

第3節 誰一人取り残さないまちづくり（人権、福祉、健康、男女）

年齢、ジェンダー、障がいや病気のあるなしを含め、すべての人々が生きていくにあたって自らの権利を当然に阻害されることなく、最大限能力を発揮できる環境を整え、守るとともに、そのための普及啓発に努め、私もあなたも互いに大切され、一人ひとりが尊重されるまちづくりを推進します。町民が心身ともに健康で快適に、かつ将来の不安なく暮らすことができるためのサポートを徹底するため、健康なからだづくり、高齢者福祉、障がい者福祉、地域福祉を推進します。



いきいきサロン



ほくほく食堂（こども食堂）



福祉教育「高齢者を疑似的に体験し理解を深める総合学習」



女性と町長が地域課題を話し合う

第1項 人権教育の推進

1. 人権教育の推進

【現状と課題・施策の基本的方向】

新たな人権問題が生じてきている社会情勢や国民意識の変化に対応し、国においては平成25年に「障害者差別解消推進法」、平成28年には「ヘイトスピーチ³⁹解消法」、「部落差別解消推進法」など人権問題に係る法律を整備し、人権侵害・差別に対する取り組みを強化してきました。

一方、本町においては、平成29年に実施した「人権問題に関する意識調査」では、日常生活の中で人権侵害を受けたことがあるという割合が10.3%、また、部落差別になる発言や態度に出会ったとする割合が11.8%ありました。



このように様々な差別が未だに実在し、インターネット社会でも横行・増幅している現実を踏まえ、人権を尊重するまちづくりの基本である「北栄町人権を尊重するまちづくり尊重計画」に基づき、町民一人ひとりの人権意識を高め、自分自身のこととして捉えることのできる教育・啓発を進めます。

【施策の内容】

町が行う取り組みは、すべての分野で人権尊重の視点に立って実施されますが、特に「北栄町人権を尊重するまちづくり尊重計画」で定める、人権教育・啓発の推進及び、人権の基盤となる生活の安定のための就労・福祉等に関する50の施策事業を推進します。

なお、その推進にあたっては、「誰一人取り残さない」SDGsの基本理念や、地域を丸ごとつなげる地域共生社会の基本理念を踏まえ取り組みます。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
人権を学ぶ会の開催・参加者	全自治会で開催 参加者1,112人	全自治会で開催 参加者1,200人	10, 16 
推進者の養成・配置	人権教育推進 協力員20人	人権教育推進 協力員30人	10, 16 

【みんなで取り組むこと】

- ・一人ひとりの責務として、人権を学ぶ会などの人権研修に積極的に参加しましょう。
- ・お互いに人権を尊重しあい、支え合いながら、地域のつながりを大切にしましょう。

³⁹ ヘイトスピーチ：特定の人種や民族など少数者への差別をあおる表現や排外主義的な言動

第2項 福祉の充実

1. 地域福祉の充実

【現状と課題・施策の基本的方向】

少子高齢化による人口減少や孤立しやすい世帯の増加、地域の生活課題の多様化、複雑化などにより、地域の中で生活に支援の必要な人に気づき、声かけ、助け合う意識が十分になく、必要な相談や支援につながりにくい現状があります。

そこで、すべての人が互いに尊重し合い、助け合いながら暮らしていくことのできる地域を目指し、地域住民、福祉関係者・団体等が連携して身近な相談窓口の充実を図るとともに、地域福祉の新たな担い手の養成やネットワークの構築など地域における福祉の環境・基盤づくりに取り組みます。

また、令和2年3月に策定した「北栄町地域福祉推進計画」に基づき、個人や世帯が抱える多様な生活課題に対応するため、総合相談機能の充実、地域づくりへの支援など包括的な支援を計画的に進め、地域共生社会の実現に向けて取り組みます。



北栄町地域福祉推進シンボルマーク

「地域福祉」とは、
誰もが住み慣れた地域や家庭で、
安心していきいきと暮らしていくために、
お互い助けあう関係を築きながら
誰もが支えあう地域共生社会を
実現しようとするものです。



あいさつとチャイルドシートを推進する民生児童委員



「ほっこりひろば」は、交流を目的にしたおしゃべり会

【施策の内容】

(1) 地域における支え合い





- ・「一人で悩まずに、まずは相談」できるよう、地域住民の皆さんや関係機関が連携し、相談につながる
ことのできる地域づくりに取り組みます。

- ・地域住民の積極的な参加によるネットワークづくりを推進し、誰もが孤立しない、人と人との交流や助け合いのある地域づくりを推進します。

(2) 相談支援体制の充実

- ・病気や障がい、生活困窮、ひきこもり、地域からの孤立など、生活の困難さや複雑な問題を抱えている人への相談支援体制を充実するとともに、関係機関との連携などにより個々の状況に応じた支援を実施していきます。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
自治会や地域での活動に参加している人の割合	75.1%	85%	3, 17.17  
身近な支え合いの活動に参加したいと思う人の割合	45.8%	65%	3, 17.17  

【みんなで取り組むこと】

- ・自分にできる地域の支え合いやボランティア活動に積極的に参加しましょう。
- ・困っている人や支援の必要な人について理解し、地域の中で共に助け合いましょう。
- ・悩みごとはひとりで抱えずに、地域の中で相談し合ったり、必要な相談窓口を積極的に利用しましょう。

2. 高齢者福祉の充実

【現状と課題・施策の基本的方向】

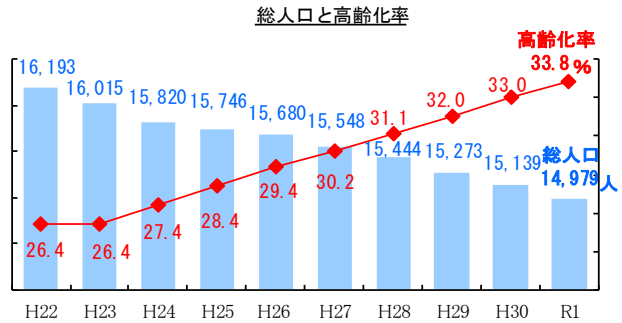
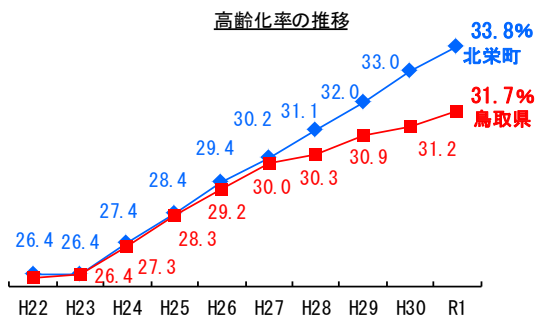
総人口が年々減少する一方、高齢者数（65歳以上）は増加しており、我が国全体が抱える課題である高齢化率の上昇は、本町が抱える課題でもあります。また、一人暮らしの高齢者や認知症高齢者など支援を必要とする高齢者も増加傾向にあります。

要介護認定者、認定率については、介護予防事業の取り組みの成果により平成29年度までは減少傾向にあったものの、平成30年度以降は横ばい・微増傾向にあるのが現状です。

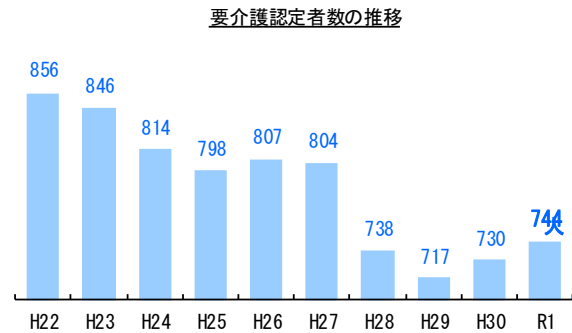
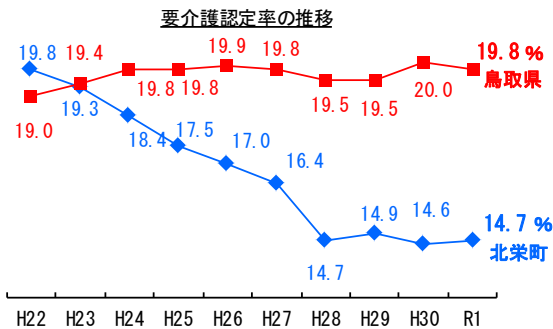
このような状況の中、高齢者一人ひとりが、“心豊かな生活”を実感し、生きがいをもって暮らしていくことのできるまちづくりを目指します。そのために、まずは、元気な高齢者を増やすこと、いわゆる「健康寿命の延伸」を目指し、高齢者の健康の保持増進を図るための介護予防事業の拡充に取り組みます。また、たとえ介護・医療が必要になっても住み慣れた地域で自立した生活を安心して続けていくことができるよう地域包括ケアシステム⁴⁰の更なる体制強化に取り組みます。

⁴⁰ 地域包括ケアシステム：地域に生活する高齢者の住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供するためのケアシステム

【高齢化の状況】 各年10月1日数値



【要介護認定の状況】



【施策の内容】

(1) 社会参加の促進

- ・認知症予防や介護予防についての啓発を図るとともに、閉じこもりを予防し、地域で高齢者が交流できる場の提供を支援します。
- ・高齢者クラブ等の自主的な団体の活動を支援します。

(2) 地域包括ケアシステムの充実




- ・高齢者が要支援・要介護状態になっても、自宅等の住み慣れた生活の場で療養し、自分らしい生活を続けることができる体制を構築するため、地域包括支援センター⁴¹の機能充実・強化を図り、関係機関との連携に取り組みます。また、多職種協働による自立支援型地域ケア会議を継続実施し、高齢者の自立支援、生活改善を図るとともに地域資源の発掘と充実に努めます。
- ・若年性認知症対策にもつながる早期の段階からの認知症の発見や適切な診断と対応が可能な体制の整備を進めます。併せて、認知症高齢者やその家族を地域全体で支援する体制を整備し、ネットワークの構築を図り、認知症高齢者が尊厳を保ちながら生活できる体制を推進します。
- ・高齢者の在宅生活を支えるため、元気な高齢者や町民が担い手となって運営する町民主体の活動や、NPO⁴²、ボランティア、民間企業、社会福祉法人等の多様な主体による活動の活性化を図り、生活支援サービスの提供体制を推進します。
- ・町民主体で参加しやすい地域に根ざした介護予防事業を推進、支援し、高齢者の健康の保持増進を図ります。

⁴¹ 地域包括支援センター：高齢者への総合的な生活支援の窓口となる地域機関

⁴² NPO（エヌピーオー）：営利を目的とせずに取り組む民間組織

- ・タクシー利用料助成などの移動支援サービスの充実により、閉じこもり予防と生活範囲の拡大を図ります。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
要介護認定率	14.7%	14.7% (現状維持)	3 
いきいきサロン ⁴³	45 自治会	全自治会	3, 17, 17  

【みんなで取り組むこと】

- ・「バランスの良い食事を摂る」、「運動習慣をもつ」、「積極的に社会参加する」の3つのライフスタイルについて幼少期から意識して生活し、健康で活動的な生活を目指しましょう。
- ・高齢者が孤立しないよう社会全体で見守り、共に助け合いましょう。

3. 障がい者福祉の充実

【現状と課題・施策の基本的方向】

平成30年4月の障害者総合支援法の一部改正により、「生活」と「就労」に対する支援の一層の充実や高齢・障がい者による介護保険サービスの円滑な利用を促進するための見直しを行うとともに、児童福祉法の改正により、障がい児支援のニーズの多様化にきめ細かく対応するための支援の拡充等が図られています。

また、平成24年には、障がい者を虐待から守り、養護者に必要な支援を行うため「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」の施行、平成25年には「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が策定されるなど、障がい者の権利擁護等を目的とする一連の法律が整備されました。

しかし、いまだ障がいのある人に対する地域の理解は十分とはいえない状況にあり、今後もさらに啓発活動の充実を図り、偏見や差別などをなくしていくことが必要です。

また、障がいのある人が地域で日常生活を送るために必要な福祉サービスについても、社会資源は十分とはいえず、生活の質を高めるために必要な福祉サービスが必要に応じていつでも受けられるよう一層の充実が求められ、社会資源に関する情報発信を推進する必要があります。

さらに、障がいのある人の自立した社会生活を支援するためには、交流の場、学習や就労の機会の確保が重要であり、視覚障がいや聴覚障がいに配慮した情報提供、コミュニケーション支援や就労移行支援などの福祉サービスの充実が必要です。

これらの課題解決により障がいのある人が、住み慣れた地域で自立した生活を送ることのできる環境を整備し、障がいのある人もない人も、ともに暮らし、自立し、社会参加できるまちを目指します。

⁴³ いきいきサロン：一人暮らしや家に閉じこもりがちな高齢者の社会参加を促進するため、地域で運営するサロン

【施策の内容】

(1) 啓発・広報の推進

- ・町報・ホームページ等で啓発・広報活動を継続的に行います。
- ・障がいのある人への理解が深まるよう福祉教育やボランティア活動の活性化に取り組みます。
- ・障がいに対する偏見を人権問題として位置付け、人権研修の一環として啓発に努めます。

(2) 地域生活の支援

- ・障がい者地域生活支援センターに相談員を継続設置し、相談体制や情報提供を一層充実します。
- ・障がい者地域自立支援協議会や家族会などの機会をとらえ、地域での生活に必要な障がい福祉サービスについて意見を伺い、支援体制の整備を図ります。
- ・障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、サービス供給体制の整備や情報提供、権利擁護の充実に努めます。
- ・障がい者等すべての人が安全に安心して生活し、社会参加できるよう、ユニバーサルデザイン⁴⁴に配慮した生活環境の整備や生活空間のバリアフリー化を推進します。

(3) 自立と社会参加の促進

- ・当事者や家族の会を支援し、交流や学習の場を広げます。
- ・障がいのある人の雇用促進のため、関係機関と連携し、就労支援に努めます。
- ・移動サービスの充実を図り、生活範囲の拡大を促進します。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
施設入所者数 （施設入所者の地域生活への移行）	41人	38人	3 
緊急受入等をする地域生活支援拠点の設置	0か所	1か所 （中部圏域で）	3 
福祉施設から一般就労への移行者数	3人	8人	3, 8, 5, 10.2   

【みんなで取り組むこと】

- ・障がいのある人への正しい理解を深めましょう。
- ・障がいのある人の課題の解決に向けて地域で支援しましょう。

⁴⁴ユニバーサルデザイン：障がいの有無や年齢などにかかわらず、すべての人にとって使いやすいように始めから意図して作られた製品や施設、環境、情報のデザイン

第3項 健康づくりの推進

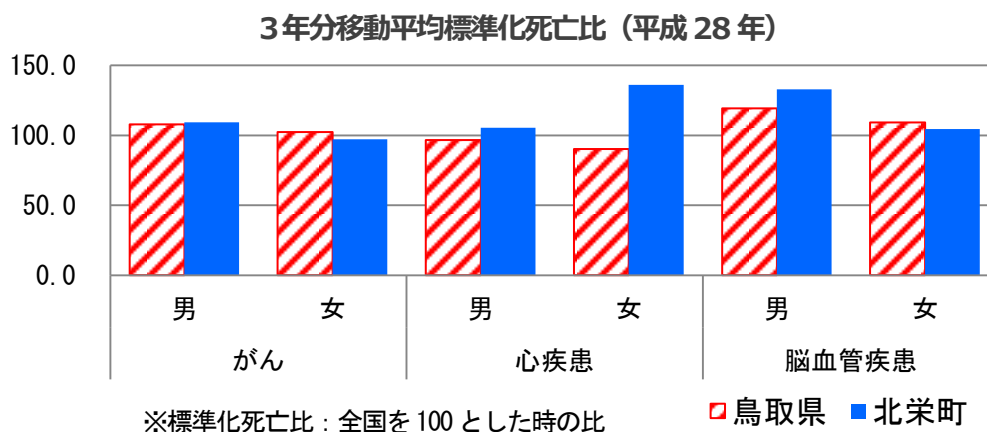
1. 健康づくり活動の推進

【現状と課題・施策の基本的方向】

私たちが目指す健康な生活とは、病気のあるなしにかかわらず、「誰もがそれぞれの生きがいを持ち、自分らしく安心して楽しく暮らせることができる生活」のことをいいます。

北栄町では男女とも急性心筋梗塞・脳血管疾患でなくなる人の割合が多く、いずれも動脈硬化が関連しています。「運動習慣の定着」、「健全な食生活の定着」、「健康診査の充実」、「生活習慣病の予防」そして「心の健康づくり」を計画に定めて、健康な生活を目指します。

また、近年の猛暑は「災害級の暑さ」と言われており、熱中症による救急搬送も増加しています。そのため、正しい知識や予防対策の重要性が高まっています。








【施策の内容】

(1) 健康づくりの推進

- ・運動習慣の定着
- ・健全な食生活の定着
- ・心の健康づくり
- ・健康診査の充実
- ・生活習慣病の予防
- ・熱中症の予防

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
特定健診受診率	41.8%	60%	3 

項目	現状 (R1 実績)	目標 (R12 目標)	SDGs
週2回以上30分以上の運動をする人の割合	35%	50%	3 
食生活改善推進員組織数	44 自治会	63 自治会	2, 2, 3, 17.17   

【みんなで取り組むこと】

- ・友人知人に声かけ、一緒に運動する機会をつくりましょう。
- ・運動の大会や講座等を活用し運動の継続につなげましょう。
- ・食育を意識しましょう。
- ・自分の時間を楽しむ大切さを知りましょう。
- ・健康診査を受けて身体の状態を知りましょう。
- ・禁煙、節酒、歯の健康に取り組みましょう。

第4項 男女共同参画社会の推進

1. 男女共同参画社会の環境整備

【現状と課題・施策の基本的方向】

北栄町では平成18年度に「北栄町男女共同参画推進条例」を制定、「北栄町男女共同参画基本計画」を策定し、この計画に基づいて男女共同参画と女性活躍推進の関連施策を推進してきました。男女共同参画社会を目指す法的制度上の改善は着実に推進されていますが、固定的な性別役割分担意識の解消には至っておらず、男女の平等理念が私たちの生活の中に根づいているとはいえません。

人口減少や少子高齢化が進む中、持続可能な社会を確立するには、家庭、地域、職場等のあらゆる場面で男女共同参画の視点を取り入れ、性別にかかわらず誰もが認められ、責任を分かち合い、支え合い、活躍できる社会の実現が必要です。

【施策の内容】

(1) 男女共同参画を進める社会づくり

- ・政策・方針決定の場への女性の参画を拡大します。
- ・男女共同参画の理解を広げる広報啓発、学習機会の充実を図ります。
- ・防災・復興分野における男女共同参画の推進を図ります。



(2) 働く場、家庭における男女共同参画の実現

- ・仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を図ります。
- ・農林水産業・商工業等の自営業における男女共同参画の確立を図ります。
- ・育児や介護にかかる相談窓口やサービスの充実を図ります。

(3) だれもが健康で安心して暮らせる社会づくり

- ・男女間におけるあらゆる暴力の根絶に向けた啓発活動を推進します。
- ・安心して相談できる体制づくりに取り組みます。
- ・生涯を通じた男女の健康の支援を行います。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
委員会・審議会における女性委員の割合	37.9%	男女ともに40%を下回らない	5 
男女が平等に参加できる社会づくりに対する満足度（町民アンケート）	51.9%	70.0%	5 

【みんなで取り組むこと】

- ・仕事と生活の調和に意識して取り組みましょう。
- ・学習機会等を利用して、男女共同参画への意識を高め、身近な人への理解を広げましょう。